

## 第2学年 国語科学習指導案

指導者 高田 暁子

1. 単元名        かんさつ名人になろう

2. 日時         6月20日(月)   13:45 ~ 14:30

### 3. 単元の目標

対象をよく観察し、発見したことを、読み手に分かるように書く。

\* 身につけたい力

- ・ 書く：        観察して発見したことを細かく観察して、必要な事項を集めて書く。  
                 観察したことと、自分の考えを分けて文章を書く。
- ・ 言語の力：   文の中で、主語と述語との関係に注意して書く。

### 4. 単元の流れ

1. 生活科で育てている野菜の観察カードから、みんなに知らせたいことを選ぶ。
2. 詳しく観察し、分かったことをメモする。
3. まとめ方(文のつなぎ方)を知る。
4. まとまりを考えながら、メモを元に、言葉を直したり、補ったりしながら文章を書く。
5. 友だちの作品を読み、感想をまとめて伝え合う。
6. 今までの学習を元に、生活科で育てている生き物を選び、詳しく観察し、さらに分かりやすい文章にする。
7. **書いたものを指導主事の先生に聞いていただき、さらに分かりやすくするための方法やアドバイスを元に、新たな文章にまとめる。**
8. 前時のアドバイスを元に、新たな文章にまとめる。

教科書では植物の観察一回で終わっているが、子どもたちの様子を見ると、生き物に興味をもっており、いつも生活科で観察している植物より、生き物を観察するほうがより意欲をもって活動できると思います。生活科の学習とも関連するので、あえて2回「書く」活動を入れてみました。

5. 本時の実際

(1) ねらい

まとまりを考えながら、メモを元に、言葉を直したり、補ったりしながら文章を書く。

(2) 流れ

前時の学習	* 生き物を観察し、友達に知らせたいと思うことを、メモを元に文章を書く。			
時間	形態	学習活動と予想される児童の反応	学習への支援 評価	指導主事の先生の支援
13:45	全体	1. 今日の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     前時に書いた文章を名人に見てもらって、さらによい文章になるように書き直そう。                 </div>	本時のめあてを確認し、課題をつかませる。	
13:50	全体	2. 名人の先生から、よい文章にするためのポイントを教えてもらう。	指導主事の先生の紹介をする。しっかり話を聞いている。	・ 分かりやすい文章を書くためのポイントを説明していただく。 1枚の花の絵を元に、相手に伝えるときに必要なポイントをおさえる。
13:55	個人	3. そのポイントを元に、自分の書いた文章を見直し、名人が担任の前にいき自分の書いた文章を読み、アドバイしてもらおう。	発表しに来た子どもに、よいところ、もう少し直したほうがよいところなどをアドバイスする。	・ テレビの前に来た子どもの発表を聞いて、よいところやもう少し手直しするとよいところなどを話していただき、「今日の学習課題」が達成できるよう支援していただく。
	個人	4. アドバイをもとに、清書する。	アドバイをもとに、自分の書いた文章を手直ししている。よりよい文章になるように、書き方を工夫しようとしている。	
14:20	全体	5. 今日の学習の振り返りをする。 ・ がんばったことや感想を発表する。	これから文章を書くときにも、今回学習したことを生かしていけるように、意欲付けをする。	

6. 本時の反省

テレビシステムを介した名人の先生との交流に非常に興味を持ち、意欲的に活動することができた。

前段階の学習の導入が足りなかった。・・・課題をつかむ必要感をもたせる工夫が足りなかったので、導入などを工夫しつつ、子どもが課題を見つけれられるような活動にしたい。

・ 相手意識をもたせると、もっとスムーズに学習に取り組めると思う。

指導主事の先生に読む場所の設定を教室の後ろにしたが、ヘッドセットを通して話すことや周りの子どもが気になって、集中して読んだり書いたりすることができなかった。場所の工夫の必要性を実感した。

全員がテレビ会議を使用した話したがっていたのだが、時間が足りず無理であった。1時間では足りなかった。

